

事務事業名	尊徳夏まつり支援事業			担当	産業部 商工観光課 観光係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			増補版施策名		
施策名	4	観光の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成5年度～）		
予算科目	1.一般会計	7.商工費	1.商工費		3.観光費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	<p>尊徳夏まつりは、尊徳夏まつり実行委員会が事業主体となり、毎年盆過ぎの土曜日に、砂ヶ原橋下流の鬼怒緑地公園で、花火大会、郷土芸能、盆踊大会を同時開催している。</p> <p>また、このお祭りに各種団体が模擬店を出店する。花火大会では、保安距離最大の2尺玉が打ち上げられていたが、平成26年度からは打上げ場所の確保が困難であるため、現在は尺玉が最大となっている。</p> <p>合併前は、花火大会・郷土芸能は生涯学習課が事務局、盆踊りにはのみや商工会が担当した。合併後は花火大会の事務局をにのみや商工会が受けている。平成30年度は、お囃子で使用する「やくら」の道板及び「はしご」の修繕費用の一部を費用負担し、補助金額が増加となった。</p>						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 31年度実績 にのみや商工会が事務局となっている。尊徳夏祭り実行委員会が運営にあたり、協賛金募集、会場準備等。  2年度計画 令和元年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
ア	尊徳夏まつり関係会議日数	日	6	6	6	6	6
イ	運営費補助金	千円	1000	1000	1000	1000	1000
ウ	やくら・はしご部修繕費補助金	千円	0	0	828	0	0
エ							
オ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 尊徳夏まつり花火大会実行委員会。	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
ア	尊徳夏まつり実行委員数	人	96	95	95	95	95
イ	関係団体数	団体	21	23	23	23	23
ウ							
エ							
オ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 多くの人が参加し、来場してもらい地域活性化につなげる。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
ア	尊徳夏まつり参加者及び見物者数	人	50,000	50,000	50,000	75,000	75,000
イ							
ウ							
エ							
オ							
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 尊徳夏まつりを通して地域の連携を深め、多くの来場者により観光の振興に繋がる。 ・長計目標値（観光客入込数） H29 294万人 H30 297万人 H31 300万人	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
ア	真岡市を訪れた観光客数	人	2,912,127	2,990,649	2,960,527	3,177,751	2,000,000
イ							
ウ							
エ							
オ							
(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,000	1,000	1,828	1,000	1,000
	事業費計(A)	千円	1,000	1,000	1,828	1,000	1,000
	人件費	正規職員従事人数	人	3	2	2	2
		延べ業務時間	時間	80	55	60	60
		人件費計(B)	千円	332	228	250	243
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,332	1,228	2,078	1,243	1,243

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	二宮運動公園にて、ふるさと青年祭りとして24時間ソフトボールを開催しており、花火大会を合わせて実施したらどうかとの意見があり、翌年（平成6年）から会場を久下中学校グラウンドに移し、花火大会が始まった。その後、別の日に公民館を会場として実施されていた商工会の盆踊りも併せて同会場で実施するようになった。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	開始当時は久下中学校のグラウンドで小規模の花火大会だったが、平成16年から鬼怒緑地公園に場所を移動し駐車場も格段に広がり、郷土芸能大会や盆踊りを併せて開催し、保安距離最大の2尺玉を上げることににより多くの見物客で賑わいが見られた。 近年は、流水の増加等により打ち上げ場所の確保困難及び協賛金不足により、2尺玉の花火を打ち上げるに至っていない。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	実行委員会より補助金の増額に関する要望がある。

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 尊徳夏まつりを開催して観光客を市内外から誘客することにより、真岡市の観光振興を図っており、市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 尊徳夏まつりは地域市民のふるさと意識の向上と、真岡市の観光振興に役立つ公共関与は妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 尊徳夏まつりによって観光客の誘客があり、真岡市の観光振興に繋がるもので適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 二宮地区に10万人の誘客があり、地域の連帯感の醸成と集客に大きな役割を果たしており、向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 観光の振興が図れなくなり、影響がある。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない 類似事業はない。
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない 尊徳夏まつりは、地域祭りとして実施しており、合併前にそれぞれ地域に根ざしていることや、目的や手法に相違があることから、当面統合ができない。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 花火大会の運営費及び会場経費の必要最低限の経費補助であり、削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 補助金交付事務、会議参加等の人件費であり、削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 花火協賛金を募集している。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							